

『教育活動円滑化のための学校施設整備WG』について

1. 趣旨等

■趣旨

教育振興基本計画（平成20年7月1日策定）において、今後10年間を通じて“教育の質を高める”ことが目標として掲げられたことを踏まえ、また、現在審議が進められている第2期教育振興基本計画の内容も踏まえつつ、重要な教育条件である学校施設に関し、教育活動をより円滑に行う観点から、その整備の在り方等について調査研究を行う（親会議の下に「教育活動円滑化のための学校施設整備WG（座長：上野淳首都大学東京副学長）」を設置し、平成22年9月から検討を実施）。

■成果物について

教育活動の円滑化を推進するため、国として、設置者における取組の参考となるよう、**設置者が**国の教育振興基本計画等を踏まえ、**学校施設整備基本構想※を策定する際の**基本的な考え方や手順についてまとめた**“手引書（参考資料）”**を作成する。

※学校施設整備基本構想とは、個別の学校施設整備に関するものではなく、例えば、国の教育振興基本計画や学習指導要領、地方の教育ビジョン等を踏まえた**域内の学校施設全体に関する整備計画**のこと。

1

2. WG委員名簿

氏 名	職 名
安 部 和 則	長岡市教育委員会教育部教育施設課長
伊 藤 俊 介	東京電機大学情報環境学部准教授
上 野 淳	首都大学東京副学長
海 野 剛 志	川崎市教育委員会事務局担当理事教育環境整備推進室長事務取扱
鈕 持 勉	帝京大学教育学部准教授、東京学芸大学特任教授
小 松 郁 夫	玉川大学教職大学院教授
斎 尾 直 子	東京工業大学教育環境創造研究センター准教授
鳥 本 安 博	芦屋市立潮見中学校 学校副主幹
奈 須 亮 子	東京学芸大学非常勤講師
成 田 幸 夫	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
村 山 真由美	平塚市立金目中学校長
森 原 良 浩	京都市教育委員会総務部担当部長
山 重 慎 二	一橋大学大学院経済学研究科准教授

（以上13名、五十音順、敬称略）

2

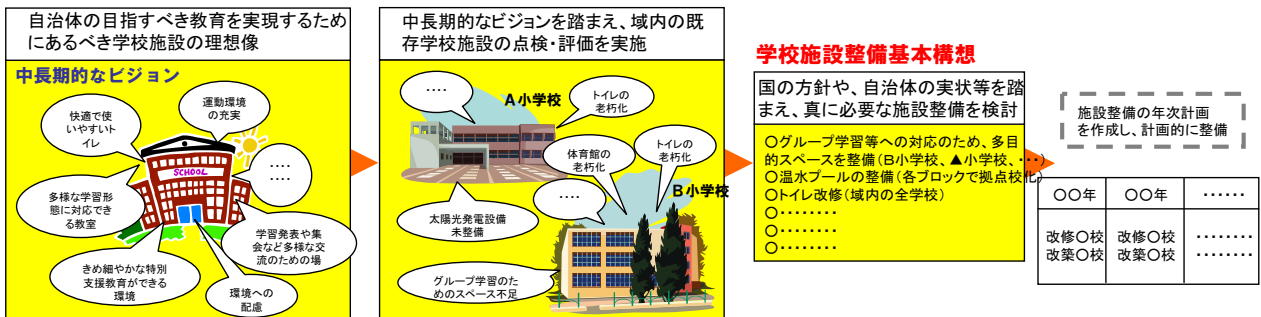
3. 学校施設整備基本構想の策定プロセスの例



3

4. 学校施設整備基本構想の必要性

■学校施設整備基本構想に基づき、施設整備を実施した場合



計画的・効率的な施設整備が可能に

■学校施設整備基本構想が無い場合

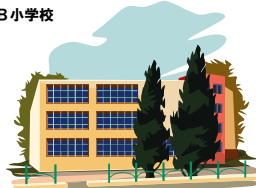
例

A小学校



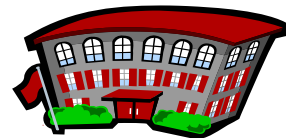
老朽改修の際、多目的スペースの整備、トイレ改修、エコ化、内装木質化等に取り組んだ

B小学校



老朽改修の際、内壁の塗装の塗替えの他、一階部分のバリアフリー化にしか手をつけず

C小学校



改築をしたが、従来型の学校としたため、少人数指導や習熟度別指導に対応できない

4

5. 報告書（骨子）

学校施設整備基本構想の在り方について(仮称)（中間まとめ素案）

第1章 背景

1. 学校施設の現状について
2. 域内の学校施設全体の整備方針の必要性について

第2章 学校施設整備基本構想の在り方

1. 学校施設整備基本構想の位置づけ
2. 学校施設整備基本構想策定の検討体制
3. 学校施設整備基本構想の公表についての考え方
4. 中長期的なビジョン等の計画期間、見直しについて

第3章 中長期的なビジョンの策定について

第4章 学校施設整備基本構想の策定について

第5章 策定プロセスの事例紹介(今後、追記)

(参考) 学校施設の高機能化・多機能化に対応した施設整備の事例紹介

5

6. 今後のスケジュール

5月23日 第8回WG 中間まとめ(素案)の検討

(6月26日 第11回親会議 WGから中間まとめ(素案)に関する報告)

7月 第9回WG 中間まとめ(案)の検討

(8月 第12回親会議 中間まとめ)

(3月 第13回親会議 報告書まとめ)

6